

保健編

1章

心身の機能の発達と心の健康

---

# 1 体の発育・発達





# 今日の学習

---

小学生のとき、体は年齢とともに発育することを学習しました。ここでは、心臓や肺など、体のさまざまな器官の発育・発達について学習しましょう。

# キーワードは

- 器官
- 発育急進期
- 個人差

キーワードに注意して学習を進めよう。





やってみよう

体にはどのような器官があるか，調べてみましょう。



やってみよう

**1** 巻末の口絵  
⑩～⑫を参  
考に，資料  
1の□に，  
器官の名称  
を書き入れ  
ましょう。

資料 1 体の器官の例

きょうせん  
胸腺

8

9

らんそ  
う  
卵巣(女子)

※卵巣は，実際には  
小腸の後ろにある。

せいそ  
う  
精巣(男子)

せきずい  
脊髄

①

②

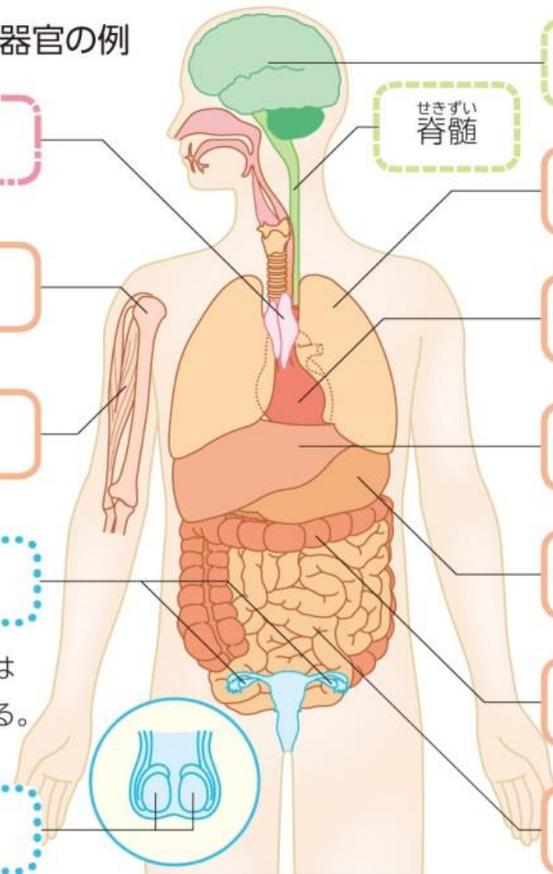
③

④

⑤

⑥

⑦





やってみよう

**1** 巻末の口絵  
⑩～⑫を参  
考に，資料  
1の□に，  
器官の名称  
を書き入れ  
ましょう。

# 答え

資料 1 体の器官の例

きょうせん  
胸腺

せきずい  
脊髄

① 脳

② 肺

⑧ 骨

③ 心臓

⑨ 筋肉

④ 肝臓

らんそう  
卵巣(女子)

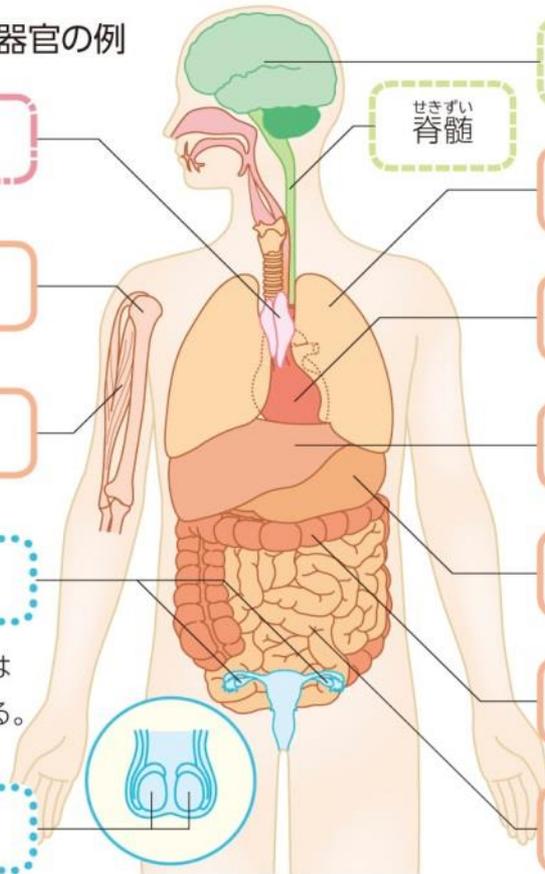
⑤ 胃

※卵巣は，実際には  
小腸の後ろにある。

⑥ 大腸

せいそう  
精巣(男子)

⑦ 小腸



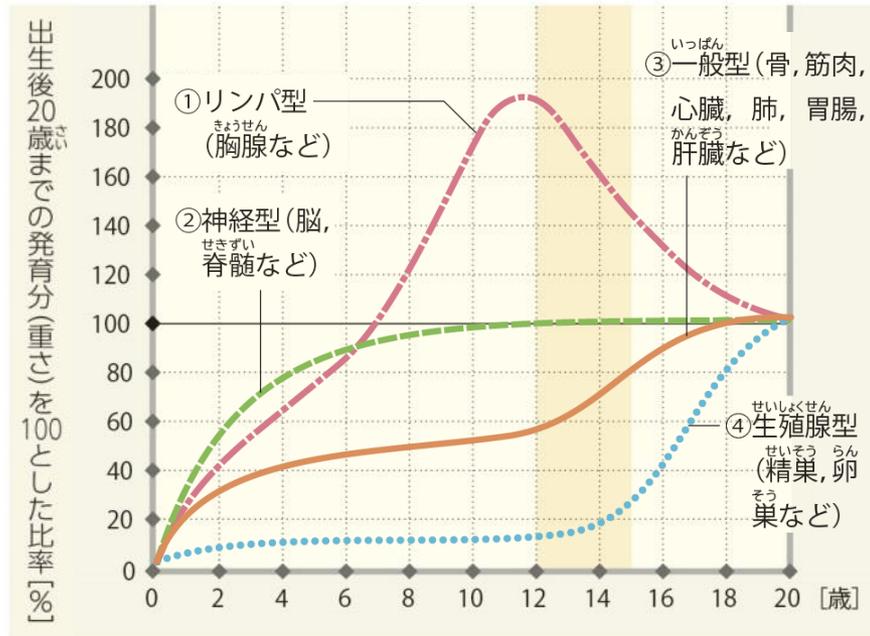


やってみよう

**2** これらの器官は，全て同じように発育・発達するのでしょうか。

（自分の考えをまとめよう）

# 各器官の発育の仕方



※現代の人の発育は、このグラフがつくられた頃（1930年）よりも早くなっている。

## ①リンパ型

胸腺やへんとう、リンパ節などのリンパ器官は、小学校高学年から中学生の頃には、大人の2倍ほどの大きさになり、働きが盛んになる。その後、次第に小さくなる。

## ②神経型

ほかの器官に比べて、早く発育・発達する。乳幼児期の発育・発達が著しく、4歳頃には大人の約80%に達し、それ以後は、ゆっくりと発育・発達する。

## ③一般型

身長や体重などと同じように、出生後に急速に発育・発達した後、緩やかに増加し、思春期に再び急速に発育・発達する。

## ④生殖腺型

精巣や卵巣、子宮などの生殖器の発育・発達は、非常にゆっくりであるが、思春期になると一般型以上に急速に発育・発達する。

思春期に急速に発育・発達するのは、

## 一般型

骨，筋肉，心臓，肺，胃腸，肝臓など

## 生殖腺型

生殖器（精巣，卵巣）など

発育・発達の時期や程度には、個人差がある。

# 学習のまとめ

## 発育急進期

大人になるまでに二度、急速に発育・発達する時期

思春期は、よりよい発育・発達のために、食事や運動、休養・睡眠の調和のとれた生活を送ることが大切。